

延岡市 ～「しきみ」を中心とした中山間地域の活性化～

プロジェクトの概要

しきみ栽培において、生産者の高齢化への対応と新規就農者の確保を図るため、生産体系における省力化・軽作業化、技術習得の明瞭化を図り、将来的には農業生産法人の設立も視野に持続可能な産地づくりに向けた体制を整備し、中山間地域の活性化を図る。

■主な取組内容

①延岡市が独自に取組む既存のシステムを利用した労働力・人材の確保

労働力不足を解消するために、就業を希望する人材をマッチングする市独自のサイト等のシステムを活用した新たな労働力・人材確保体制の整備。

②生産性の向上に係る技術・仕組みの確立

しきみ栽培における省力化・軽作業化や作業の効率化のための生産性向上技術の開発、ベテラン農家のノウハウを活用した仕組みの構築。

③持続可能な産地づくりに向けた体制整備（将来的な取組）

産地として維持していくために、集出荷施設の整備、園地や技術の承継、集団化に向けた体制の整備。



■課題

○しきみの需要は大きいものの、各作業において専門的な技術を要し、その継承は口伝や見様見真似であり習得に時間を要するため、雇用が上手く活用できず、さらにほとんどが家族主体の経営であることもあり、繁忙期の供給が追いつかず、しきみの持つ収益ポテンシャルを十分に生かしてない。

○しきみは、中山間地の急傾斜地で栽培されており、大型機械等の導入が図られておらず、生産者の高齢化に対応した産地維持や新規の生産者を呼び込むための作業の省力化・軽作業化が必須となっている。

そもそも「しきみ」とは？

しきみ・・・マツブサ科シキミ属の常緑小高木。主に、墓や仏壇のお供え物、葬儀の場等で利用される花木

令和2年度実績

○販売量・・・216トン（全国シェア13%）

○販売高・・・1億7千万円 ○取引先・・・1府9県25市場



連携したい企業像

【連携したい企業イメージ】

○しきみ生産の省力化・軽作業化・簡略化につながる技術を開発する企業で検証不足が課題となっている企業

○花木以外での利用を考えられ、新たな発想を思いつく企業

【期待する技術・専門性】

○しきみ栽培のプロセスを省力化できる技術

○専門的な技術を容易に行える技術

【期待する効果】

○省力化・軽作業化による生産性の向上

○作業工程の解析・明瞭化

連携するメリット

【提供できる情報・資源・環境】

○実証フィールド（園地は市及び生産者が選定）

○生産者、関係機関の紹介及び実証に向けた協議

【企業側の裁量】

○実証・導入した技術は企業の実績として使用可能であり、水平展開のツールとして活用可能

